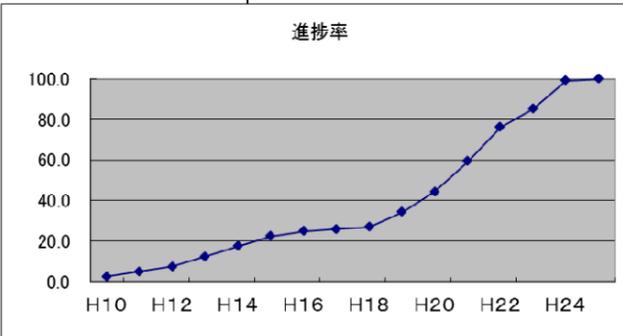


平成24年度再評価対象事業
(対象：平成19年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業案)
再評価時点 H19	再評価時点 H19	一般国道207号 (原田跨線橋)	本路線は佐賀市を起点として、鹿島市・諫早市を経由して長崎県西彼杵郡時津町に至る延長約110kmの主要幹線道であり、佐賀・長崎両県の産業、経済、観光の広域交流を支える重要な路線である。 該当区間は、JR長崎本線(原田踏切)における交通渋滞、また、近隣には有明中学校及び肥前竜王駅があり、歩行者も多いが、歩道が無く自転車歩行者に危険を及ぼしている。 そのため、交通混雑の緩和及び交通安全の確保を図ることを目的として、原田踏切の立体交差化による踏切除去を実施するものである。	全体事業費：34億円 工期：H10～H23 事業内容： 延長 L=800m 幅員 W=6.5m (12.5m) 改良工 L=528m 橋梁 L=272m 舗装工 L=800m 測定 一式 用地補償 一式	H18末進捗率：約31.8% (事業費ベース) (年平均進捗率7%) ○平成19年度より本線橋下部工工事に本格的に着手を行う。	交通量の推移(白石町戸ヶ里) H9 16,438台/日(基準) H11 18,428台/日(1.12) H17 17,707台/日(1.08) H22 15,969台/日(0.97) ○終点側取付部において、地元白石町による分譲宅地開発「若楠の森ありあけ」など、隣接地の開発が進んだ。	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 B/C = 2.0	(コスト削減) ○再生資材の利用促進を図っている。 ○工事で発生する残土を盛土等に流用する。 ○橋梁塗装の維持管理費を削減するために、耐候性鋼材を使用。 (代替案の検討) ・特になし	着手より10年経過のため再評価	継続 ・事業の必要性に変化が無い。現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。
		一般国道207号 (原田跨線橋)		社会資本整備総合交付金 事業主体：県 事業地：白石町	全体事業費：40億円 工期：H10～H25 事業内容： 延長 L=800m 幅員 W=6.5m (12.5m) 改良工 L=528m 橋梁 L=272m 舗装工 L=800m 測定 一式 用地補償 一式	H23末進捗率：約85.3% (事業費ベース) (年平均進捗率6%) ○用地買収完了している。 H23末用地進捗約100% (面積ベース) ○H23末工事費進捗約79% ○H24末 跨線橋部の供用開始	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 B/C = 1.9	再評価実施後5年が経過のため再評価	継続 ・事業の必要性に変化が無い。 ・現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。	
		理由等		H22より補助事業が交付金事業に移行したことによる。	橋梁塗装の維持管理費を削減するために、耐候性鋼材を使用した事による工事費の増。 鉄道高架部の橋梁上部工架設において、架設方法の変更(押し出し工法→クレーン架設)による工事費の増。 現道に橋梁下部工を施工するため、施工に際して現道切り回しを数回にわたり、実施したため期間を要し、2年間延伸した。	 <p>進捗率</p>	前回再評価時と比較し、全体事業費が増大したことからCが増大し、費用便益が若干の減となった。			